

BIWAKO BIENNALE 2016

見果てぬ夢

Eternal Dream

企画書

はじめに

2001年、21世紀の幕開けとともに始まったBIWAKOビエンナーレ。会場となる近江八幡旧市街は、豊臣秀次により築かれた城下町を基礎とし、近世は近江商人発祥の地として発展しました。江戸期に建てられた町家が軒を連ねる新町通り、永原町通り、八幡堀沿いの町並みおよび日牟禮八幡宮境内地は「近江八幡市八幡伝統的建造物群保存地区」の名称で国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されています。しかし、市内には、放置され、荒れるに任された多くの空き町家が点在し、近代建築や駐車場へと姿を変えていくという現状もあります。BIWAKOビエンナーレは、そうした現状を打開すべく、残された貴重な建物の保存と活用を試みます。長年放置され続けた建物をまずは、地元住民や日本全国から集まる有志たちの手で清掃することから始め、国内外より集まるアーティスト達が、各々の空間を作品化していきます。BIWAKOビエンナーレにより、何年もの間、訪れるものもなく忘れ去られていた建物たちが、生き生きと輝きを取り戻し蘇るそのさまを作品とともに楽しみいただければ幸いです。



八幡堀

江戸期には水運によって発展し、近江商人を生んだと言われています。その風情は、今もそのまま残っています。



新町通り

江戸時代末期から明治にかけて建築された商家が整然と残る町並みは、近江商人のふるさととし、その保存運動が展開されています。

BIWAKO ビエンナーレ 2016

テーマ：見果てぬ夢（英名：Eternal Dream）

会期：2016年9月17日（土）～11月6日（日）

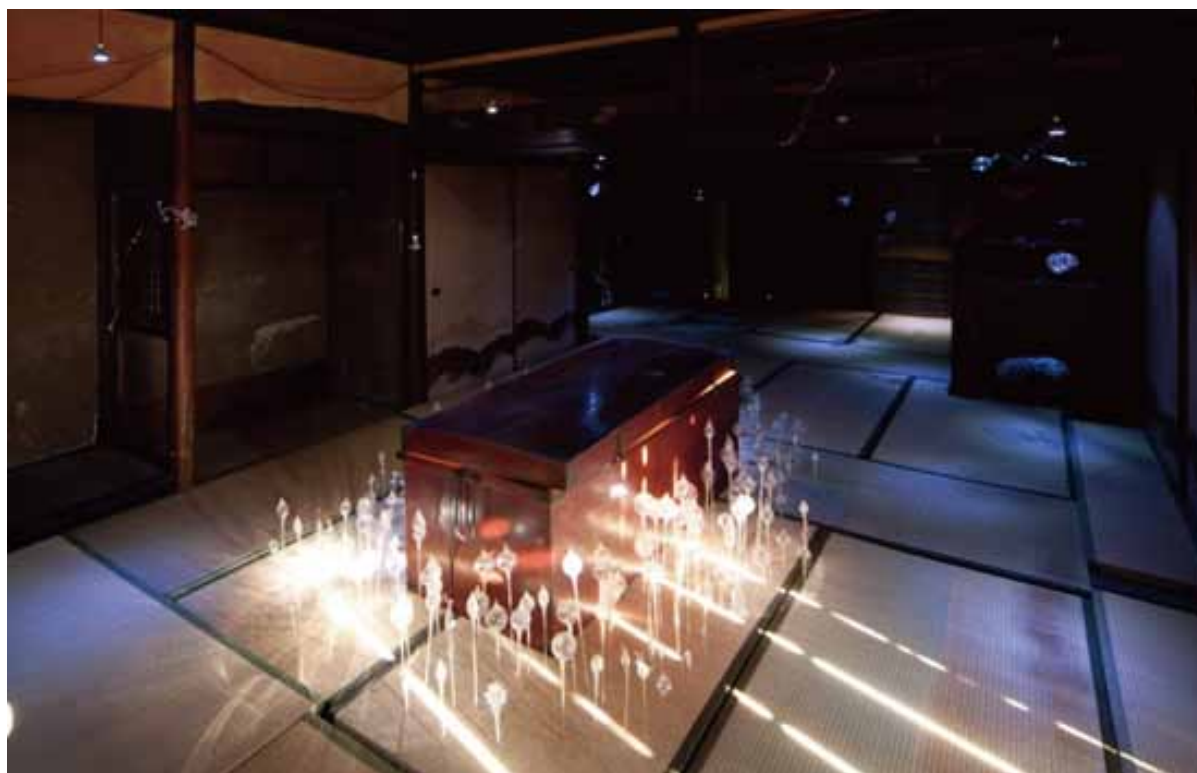
休場日：木曜日（木曜日が祝日の場合、翌日休。ただし、最終週全日開場）

会場：滋賀県近江八幡旧市街 10 会場

夜空に瞬く 無数の星
そのどれかひとつが 己が星
地球で送る 一生は、その星に向かって描く軌跡
軌道は宇宙で錯綜し
地球のうえで 像を結ぶ

母なる地球ガイアは、何を夢見て人類を生み出したのだろうか？
いまだ見果てぬ夢を生きる私たちの各々の夢はどこへと続いていくのだろうか？

今回の BIWAKO ビエンナーレは、宇宙に浮かぶ星々の夢の軌跡をたどる旅
作家たちのめくるめく夢の饗宴が、始まります…。



青木美歌「未生命の遊槽」（2010年制作）

展示会場

会場となるのは、近江八幡旧市街に点在する住み手を失った町家や元工場など。そのほとんどが江戸期に丹精籠めて建てられた貴重な建物です。会場を回るとともにゆったりとしたトキの流れる町の風情をお楽しみください。



まちや倶楽部 ※総合案内所

近江八幡唯一の蔵元である西勝酒造の旧工場。2012年からは「まちや倶楽部」と命名し、近江八幡旧市街のまちづくり、コミュニティビジネス等の活動拠点として活用されています。酒造りの工程によって室（むろ）や蔵があり、迷路のような空間は工場ならではの。



尾賀商店

築150年の歴史を持つ建物。戦前までは砂糖問屋を営み、戦後からは履物の卸をしていました。2007年からは新たな創造と発信の場として、カフェ・ショップ & ギャラリーとして生まれ変わり、近江八幡の人気スポットのひとつとなっています。会場となる倉庫ギャラリーは建てられた当時の面影がそのまま残っており、様々なアーティストの活動場所として親しまれています。



喜多七右衛門邸

江戸期から畳、麻網を中心に卸売業を営んだ喜多七右衛門の町家。かつてこの地域では織田信長の命により畳を生産し、信長本人にも七右衛門が卸していました。そうした由縁もあり大正の半ばまで喜多七右衛門の名をそのままに、日本全国で商売をしていました。威厳のある立派な大広間などの佇まいを見ると、喜多七右衛門が近江商人としていかに成功していたか知ることができます。



カネ吉別邸

明治29年創業、現在も近江牛の販売として有名な「カネ吉」の所有している町家。詳しい歴史は定かではありませんが、江戸期に繁栄を極めた元材木商の家であったと伝わっており、堂々たる梁が落ち着いた風格を与えています。また、奥の蔵の明かり取り窓から差し込む光は神秘的で見所の一つです。



旧扇吉もろみ倉

近江八幡の中でも代表的な醤油醸造元、平居吉蔵家のもろみ倉。かつて年間500石（50000升）もの醤油を生産していましたが、昭和期には廃業となり、もろみ倉の中にコンクリート製の部屋を作ることで給食センターとして活用されていました。今ではコンクリート部分がきれいに取り除かれ、もろみ倉として機能していた頃の土壁や床面の石がごろごろする荒々しいむき出しの土の表面が復活。今なお創業時の空間が残る、数少ない貴重な建物です。



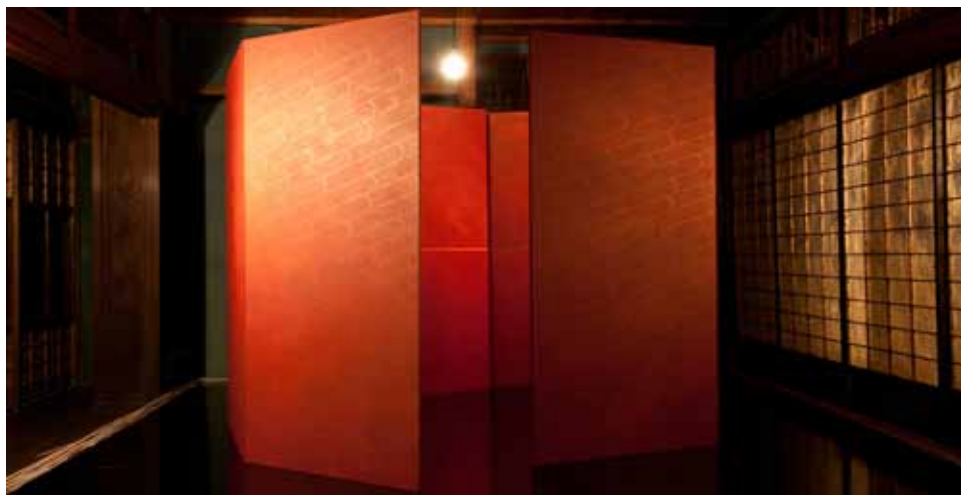
旧中村邸

豊臣秀次の家臣、中村（灰屋）久兵衛の屋敷跡。武士から商人へと転身した近江商人で、屋号が灰屋となっていたことから染物に必要な石灰を取り扱っていたと考えられています。現存しているものは1745年に焼失した後、六代目の手により1855年に再建されたもので、今なお道に面している扉には”中”の紋が見受けられます。

その他：遠久邑（おくむら）八幡堀、喜多七右衛門邸蔵、村雲御所瑞龍寺門跡、八幡山展望館

アーティスト

国内外から選りすぐりのアーティストたちが結集し、それぞれの空間そのものを自らの作品へと昇華させていきます。BIWAKOビエンナーレは彼らによって奏でられる壮大なシンフォニー。今回のテーマ“見果てぬ夢”に込められる思いが、皆さまの胸に響きわたり魂を揺さぶるものとなりますよう渾身で取り組みます。



BIWAKOビエンナーレ 2014 出展作品

上

左：三木サチコ 右：野田拓真

下

左：市川平 右：河合晋平

出展アーティスト

青木美歌 浅野健一 あわ屋 池原悠太 市川平 石川雷太 石村まなみ 伊藤えり 井上剛 内田望君平 うらゆかり 奥中章人 金澤翔子 河合晋平 草木義博 河村勇樹 パオラ・ニュシカ・キリシ パンチョ・キリシ マチュー・キリシ 熊瀬紀子 熊澤桂子 コシノヒロコ 齊藤江湖 サークルサイド 塩見篤史 新村卓之 クレメント・ジャンダール 関口涼子 田中太賀志 田中哲也 田中誠人 田辺磨由子 タリナイナニカ 友田多恵子 中川周士 中田耕平 二階武宏 西山武志 野田拓真 ヨアナ・ハウロツ 林茂樹 ローレント・フォート 藤井誠治 藤居典子 藤原昌樹 テオ・ペッツ レオナルド・ペレガッタ 三木サチコ 南野馨 南村遊 村井賢治 ガブリエラ・モラウエツツ 八木玲子 山田浩之 山田純嗣 山本基 フェリペ・リボン ドーナ・リン 度會保浩 BAKIBAKI+井上雅博 羽太広海+羽太裕子

協力アーティスト（イベント等の出演）

インディゴリリー ジル・ベソウ

関連イベント

建物とアートのコラボレーションの他、様々なイベントを企画しております。

サテライトイベント



ショートフィルム上映会 & プレス発表

日程：08月下旬（調整中）

会場：glaf（大阪市北区）

BIWAKOビエンナーレのサテライトイベントとして、出展アーティスト、クレメント・ジャンダールの作成したショートフィルム上映会をいたします。同時にプレス発表もいたします。

ワークショップ

キッズワークショップ “お化けをつくろう！”

日時：08月27日 10:00～12:00

会場：BIWAKOビエンナーレ事務局内

参加費無料、予約優先制

出展アーティスト、ドーナ・リンとパオラ・ニュシカ・キリシによるコラボレーション作品テーマは“Gost-Obake”。これをテーマに夏休み期間中に子供たちとワークショップを行います。



no photo

ワークショップ “自分だけのオリジナル革製ブックカバーを作ろう”

日程：会期中随時（不定休）

会場：まちや倶楽部内

参加費 1000円～、所要時間約 20分

出展アーティスト、藤井誠治によるワークショップ。革に好きな模様を描いたり、オリジナルのブックカバーを作成していただけます。漆だけでなく革製品も取り扱う、器用な彼だからこそ知る世界も一緒にお楽しみください。

イベント・コンサート

BIWAKO ビエンナーレナイトツアー

日時：会期中の金曜日、土曜日（ただし、9/23は振替休のため無） 17:30～19:00

会場：BIWAKO ビエンナーレ会場

参加費 1000 円、BB パスポート所持の方は 500 円

モノは光の当たり具合によって大きく見え方が変わるもの。それはアート作品も同じです。アーティスト、作品、建物を知り尽くした BIWAKO ビエンナーレスタッフと共に日中とは違う魅力をご堪能いただけます



シンポジウム “未来へのパースペクティブ IV- 中国における芸術祭の取り組み -”

日時：10月24日 17:30 開場、17:45 開講

会場：まちや倶楽部内

聴講費 1000 円、BB パスポート提示で 500 円

今年から、始まった中国烏鎮の芸術祭「ART WUZHEN」の総合ディレクター、Feng Boyi（フェン・ボイ）氏を迎え、彼の取り組みや、中国のアートシーンについて講演。その後、京都造形芸術大学の 大野木啓人 副学長及び BIWAKO ビエンナーレ総合ディレクターの中田洋子も交え、今後の日本のアートの動向などを語り合います。



パフォーマンスアート “mori”

日時：10月26、28日 17:30 開場、18:00 開演

会場：まちや倶楽部内

観覧費 3000 円、予約優先制

ストックホルムを拠点に活動するアーティストグループ、インディゴリリー。彼ら上演する“mori”はストックホルムカルチャーナイト芸術祭 2016 の上演作品のひとつで、村上春樹著『世界の終わり』とハードボイルド・ワンダーランドから構想を得た、音楽、身体表現、映像、朗読、観客の参加を軸に進んでいく実験的パフォーマンスアートです。今回特別にBIWAKO ビエンナーレの作品に囲まれた空間でお楽しみいただけます。



その他

滋賀の魅力発信コーナー

日時：会期中随時

会場：まちや倶楽部内

BIWAKO ビエンナーレ 2016 では、これまで同様の現代アートと古い建物の融合展示に加え、滋賀に根付く優れた伝統工芸や、産業などにも目を向け、そうした滋賀の持つ魅力を発信するコーナーも設けます。琵琶パール、袱紗、和ろうそくといったプロダクトのみならず、滋賀の地酒なども並びます。さらに滋賀で発掘された家庭などに残る古い映像上映も常設し、お楽しみいただくことができます。



概要

主催

NPO 法人エナジーフィールド

展覧会名

BIWAKOビエンナーレ 2016

テーマ

見果てぬ夢（英名：Eternal Dream）

開催期間

2016年9月17日（土）～11月6日（日）

開場時間／休場日

10:00～17:00／木曜日（木曜日が祝日の場合翌日振替休。ただし、最終週は全日開場）

パスポート料金 *【 】内は前売り e チケットより発売中

一般 2500円【2300円】、学生（高校生以上）2000円【1500円】、中学生以下・障がい者無料

展示会場

滋賀県近江八幡旧市街 10会場（まちや倶楽部、喜多邸七右衛門邸、喜多七右衛門邸蔵、尾賀商店、旧扇吉もろみ蔵、カネ吉別邸、旧中村邸、遠久邑八幡堀、村雲御所瑞龍寺門跡、八幡山展望館）

アーティスト（イベント等含む）

青木美歌 浅野健一 あわ屋 池原悠太 市川平 石川雷太 石村まなみ 伊藤えり 井上剛
インディゴリリー内田望 君平 うらゆかり 太田達 奥中章人 金澤翔子 河合晋平 草木義博
河村勇樹 パオラ・ニュシカ・キリシ パンチョ・キリシ マチュー・キリシ 熊瀬紀子 熊澤桂子 コシノヒロコ
齊藤江湖 サークルサイド 塩見篤史 重森三果 ジル・ベソウ 新村卓之 クレメント・ジャンダール
関口涼子 田中太賀志 田中哲也 田中誠人 田辺磨由子 タリナイナニカ 友田多恵子 中川周士
中田耕平 二階武宏 西山武志 野田拓真 ヨアナ・ハウロット 林茂樹 ローレント・フォート 藤井誠治
藤居典子 藤原昌樹 テオ・ペツソ レオナルド・ペレガッタ 三木サチコ 南野馨 南村遊 村井賢治
ガブリエラ・モラウエツツ 八木玲子 山田浩之 山田純嗣 山本基 フェリペ・リボン ドーナ・リン
度會保浩 BAKIBAKI+井上雅博 羽太広海+羽太裕子

運営組織構成

NPO 法人エナジーフィールド

理事長：大野木啓人（京都造形芸術大学 副学長）

副理事長：小原啓渡（アートコンプレックス統括プロデューサー）

常務理事：中田洋子（インデペンダントキュレーター）

理事：竹田直樹（兵庫県立大学淡路景観園芸学校、警官デザイン部門准教授）

理事：平垣内悠人（ミリエントフォト代表取締役）

理事：草木義博（有限会社デザインワークス代表取締役）

理事：松川恵一（株式会社エニアックインターナショナル 代表取締役）

監事：山本俊恵（株式会社カネ吉ヤマモトフーズ 代表取締役）

監事：影山好江（武者小路千家 教授）

BIWAKO ビエンナーレ事務局

総合ディレクター：中田洋子

事務局統括マネージャー：大野木喜世

事務局員：末吉隆博

PR 協力：地野裕子（株式会社ルウルウ商會 代表取締役）

写真記録：平垣内悠人

映像記録：鈴木登志代

助成・協賛

助成

公益財団法人朝日新聞文化財団

公益財団法人大阪コミュニティ財団

公益財団法人関西・大阪 21 世紀協会

公益財団法人花王芸術・科学財団

公益財団法人河本文教福祉振興会

平成 28 年度滋賀県「美の滋賀」創造事業 地域の元気創造・暮らしアート事業

公益財団法人 秀明文化財団

公益財団法人 平和堂財団

協賛

近江八幡まちや倶楽部

尾賀商店

近江牛毛利志満

近江佃煮庵遠久邑八幡堀

株式会社カネ吉山本フーズ

京都銀行近江八幡支店

食産耕房

夏原工業株式会社

南紀白浜梅樽ホテルシーモア

有限会社フェイム

SOHO Clue

インテリアショップ CURASU effe

株式会社日吉

和奏

和でん

有限会社アイアンドティー

公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院

株式会社近江兄弟社

滋賀TCM株式会社

進々堂商光株式会社

神保真珠商店

株式会社和紙来歩



International Art Festival
BIWAKO
BIENNALE

BIWAKO ビエンナーレ事務局 (NPO 法人エナジーフィールド)

〒523-0862 滋賀県近江八幡市仲屋町中 12 スワイビル 2 階
TEL/FAX 0748-36-3766 E-mail info@energyfield.org

協力

あきんど道商店街振興組合

あわ八

株式会社エニアックインターナショナル

近江鉄道グループ

近江八幡左義長保存会

喜多七右衛門邸

旧扇吉もろみ倉

銀聲舎

滋賀県酒造組合

スウェーデン政府芸術助成委員会

ティースペース茶楽

村雲御所瑞龍寺門跡

株式会社ルウルウ商會

第 46 回滋賀県芸術文化祭参加事業

後援

滋賀県教育委員会

近江八幡市

近江八幡市教育委員会

近江八幡観光物産協会

在日フランス大使館／アンスティチュフランセ日本

株式会社滋賀銀経済文化センター

公益財団法人ビジターズビューロー

ポーランド広報文化センター

イタリア文化会館—大阪

スウェーデン大使館